



第137号 2017年9月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

着物フォトコンテスト2016「影踏み」黒川進一（岡山市）

主な内容

幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン	P2~P3
ズームアップ 山口県副知事 弘中勝久(山口市)	P6
元気企業探訪 株式会社美萩工芸(東京都・萩市)	P7
萩ゆかりの店 ChouChou(シユシユ・東京都)	P8
話題の店 ギャラリーJIBITA(萩市)	P9
連載 萩の産業遺産を歩く②	P10

9月から12月まで開催されるJRグループの大型観光キャンペーン「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」に合わせて、「着物ウィーク in 萩プレミアム」が10月1日から22日まで、城下町周辺で開催される。

着物レンタル（着付け含めて4000円/久保田家住宅）があり、フォト撮影・写真プレゼントなど、江戸時代の町並みに似合う“着物”を着て、気軽にまち歩きを楽しめる萩ならではの“着物体験”！

着物ウィークin萩プレミアム
着物で萩を楽しむ



9月から12月にかけて大型観光キャンペーン

山口県と萩市など県内市町、Rグループ6社では、大型観光キャンペーン「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」(以下山口DDC)を、今年9月から12月にかけて開催する。

来年の明治維新150年に向けて、山口DDCは中核事業として、歴史や自然、食、温泉、体験など県内各地の観光資源を刷新し、山口県の魅力を楽しめる旅を提案している。

萩市内で開催される事業のうち「古地図を片手に萩を歩こう!」を特集する。

山口県内の詳しい情報は、ホームページ「山口DDC」で検索。

「古地図を片手に萩を歩こう!」

長州藩の絵図などが制作した美しい古地図が豊富に残されている山口県。なかでも萩市は「江戸時代の地図がそのまま使える町」。

古地図を持って地元ガイドの案内で、往時の街道や町並み、暮らしの体感できるガイドウォークを開催する。

- 参加料 500円(1人)
- 予約制(1週間前まで)



江戸、明治期の時代を伝える石垣

■堀内伝建地区〜豪壮な武家屋敷の面影

萩城・三の丸にあたる堀内伝建地区は、萩藩主毛利一門や永代家老などの上級武士が居住した広大な武家屋敷跡。鍵曲や長屋門、土塀など当時の面影が残る町並みを巡る。

- コース 萩博物館↓本町(御成道)、堀内鍵曲、□羽家住宅、問田益田家旧宅土塀など↓萩博物館
- 期間 毎週土・日曜日、祝日、その他心相談
- 開始時間 午前10時30分(約90分)、午後1時(約90分)、その他相談
- 集合場所 萩博物館正面玄関

■浜崎伝建地区〜港で栄えた商家の町並み

萩城下の港町として栄えてきた浜崎。日本海に面することから、物資の流通や販売、水産業などに携わる人々で賑わい、古くから萩の経済を支えてきた。江戸時代から昭和初期までの昔ながらの町並みを巡る。

- コース 旧山村家住宅↓旧山中国家住宅↓旧萩藩御船倉↓旧小池家土蔵↓柏村家住宅↓中村船具店↓旧山村家住宅



旧萩藩御船倉

- 期間 毎週土曜日、その他心相談
- 開始時間 午後2時(約60分)その他心相談
- 集合場所 旧山村家住宅(萩市浜崎7)
- 予約・問い合わせ 浜崎しつじょ会(08388・22・0133)

■萩城下町〜武士や豪商の屋敷が立ち並ぶ

萩城下町は、江戸屋横町・伊勢屋横町・菊屋横町など、江戸時代の町割と、武士や豪商の屋敷がよく保存され、国の史跡に指定されている。往時の面影をとどめる高杉晋作や木戸孝允ゆかりの地を巡る。

- コース 中央公園↓萩城下町(江戸屋横町、木戸孝允旧宅、高杉晋作誕生地、菊屋横町など)↓中央公園
- 期間 毎週日曜日
- 開始時間 午前10時(約90分)
- 集合場所 中央公園駐車場(萩市江向593)
- 予約・問い合わせ NPO萩観光ガイド協会(08388・25・3527)

■須佐武家町〜萩藩永代家老益田家の本領地

萩藩を幕末まで支えた永代家老益田家の本領地であった須佐。碁盤の目状の町割に、益田館や郷校



菊屋横町



笠松神社

- コース 歴史民俗資料館↓笠松神社↓育英館↓松崎八幡宮↓大瀧寺庭園↓法隆寺↓益田家墓所↓歴史民俗資料館
- 期間 毎日
- 開始時間 午前10時(約2時間)
- 集合場所 須佐歴史民俗資料館「みこと館」(萩市須佐4441・10)
- 予約・問い合わせ 須佐公民館(08387・6・2310)

デステイネーション・キャンパイン(9~12月)

古地図でめぐる 萩まるごとクーポン

5枚つづりのクーポンと古地図のガイドマップを手に、クーポンと引き換えに対象の飲食店、日帰り温泉施設、観光施設、おみやげ店、体験、交通機関に利用できる。萩ならではのメニューを多数用意。これ一つで萩をまるごと楽しめる。

- 開催期間 9月~12月
- クーポン料金 2000円(5枚綴り)
- 販売場所 萩市観光協会(0838・25・1750)ほか
- クーポン引換店舗 71店舗
- 飲食店 27店舗
- 日帰り温泉施設 4施設
- 観光施設 7施設



古地図ガイドマップとクーポン

- ・おみやげ店 22店舗
 - ・体験施設 6施設
 - ・交通機関 5社
- 詳しくは、萩市観光協会ホームページ「ぐらり萩あるき」から。

松陰神社宮司による 松陰講話

松陰神社本殿で正式な参拝後、藩から自宅謹慎を命じられた松陰が過ごしていた吉田松陰幽囚旧宅を見学。普段は上がることのできない松下村塾に上がり、宮司の特別講話を聞くことができる。

- 9月~12月(不定休)
- 1000円(1人)
- 人数 10人~40人程度
- 申し込み 萩市観光協会
- 0838・25・1750

山陰線を走る観光列車 「〇〇のはなし」8月から運行

8月5日から運行が始まった新たな観光列車。新下関駅~東萩駅間を、快速列車として土曜・日曜・祝日に1日1往復運行する(2両編成)。海岸線の美しい景色を楽しめるよう大きな窓と海側に向けた座席配置、海の幸やお酒など特



新観光列車「〇〇のはなし」

- 産品を販売するカウンターやイベントスペースがある。
- 60席全席指定、乗車券のほか5200円の指定券が必要。
- 運転日 土・日曜日、祝日
- 運転区間 往路・新下関駅(9:59発)~下関駅~長門市駅~東萩駅(12:57着)
- 復路・東萩駅(14:13発)~仙崎駅~長門市駅~下関駅~新下関駅(17:50着)
- 車内サービス 下り列車限定で、萩でとれた金太郎・平太郎のおつまみと萩焼のお猪口のセット(1500円)、萩市の洋菓子店・うきしま工房がつくるシュークリームとマドレーヌなどのスイーツセット(1200円)。申し込みは萩市観光協会。

豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」6月から運行

京都、大阪駅~下関間の山陽線または山陰線を走る1泊2日の片道4コースと、山陰・山陽を巡る2泊3日の周遊1コース。

- 萩市に停車するのは全5コースのうち、山陰コース下り。停車駅を拠点にした立ち寄り観光があり、東萩駅で下車、萩駅から乗車する。
- 萩への立ち寄り観光の日程
- 9月17日、10月1日・5日・8日・29日、11月12日・26日、12月10日・24日



トワイライトエクスプレス瑞風

*10月5日(木)以外、いずれも日曜日
8:40 東萩駅到着 12:08 萩駅出発(予定)

「スーパーはぎ号」10月から1日4往復が8往復に増便(予定)

JR新山口駅と萩・明倫センターを約60分で行く直行バス「スーパーはぎ号」(1日4往復8便)が、10月1日から1日8往復16便に増便される予定。停車場も、明倫センターを経由し、萩ハスセンター、東萩駅を追加予定。これは、現在1日14便運行している防長交通の「特急はぎ号」が利用者の減少のため、9月末で運行廃止に伴う措置。

- 現在の時刻表
- 新山口駅発 9:45、11:00、13:00、16:15
- 萩・明倫センター発 9:30



スーパーはぎ号

11:15、14:00、16:30
*10月1日以降の時刻は、9月中旬以降に防長交通、中国JRバスのホームページで発表される。
□料金片道 1550円(小児780円)

産業の振興、人材の育成により「住みたくなくなるまち・萩」に 藤道市長が初の施政方針

3月の萩市長選で初当選した藤道健一市長は、6月14日、萩市議会6月定例会で市政運営の基本的な考え方など初の市長施政方針を表明したので、ポイントのみ紹介する。

市民ファースト

『市民ファースト』を念頭に置き、「暮らし満足度ナンバーワン」を目指し、「すべての市民の目が輝くまちづくり」に全力を尽くします。

「人材の育成」、「産業の振興」、「元気なコミュニティの再生」を3つの柱として、「住みよいまち・萩」「住みたくなくなるまち・萩」の実現に向け、施策を展開します。

子どもを産み育てやすいまち

○妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うワンストップ拠点を構築するため、今年10月を目途に「仮称」子育て世代包括支援センター」を設置します。
○中学校・高校スポーツを強化し、萩市の教育水準を県内トップクラスに引き上げ、子どもたちが「教育のまち・萩」におのずと学びを求め、活躍の場を求めます。



萩・明倫学舎（インフォメーションセンター）夏の盆過ぎに16万人を超える

○産業振興施策を積極的に展開するため、市の組織を見直し、新たに「仮称」産業活性化推進本部」を設置に向けた取り組みに着手します。

産業活力にあふれたまち

○全国初となる、農業法人と酒造会社との共同により、原料米を精米する「とう精施設」を来年3月の完成を目指して整備し、地元のみ・水・蔵で造る「萩の地酒」としてのブランドを確立します。

快適で住みよいまち

○新萩市総合福祉センターは、市民の交流や福祉のボランティア活動の場、福祉関係機関を集約したワンストップ窓口、本庁舎の代替機能を併せ持つ施設として整備し、2019年度の梅雨前の完成を目指します。

○南北をつなぐ地域高規格道路「小郡萩道路」、東西をつなぐ高規格幹線道路「山陰道」の一日も早い全線開通に向けて、関係機関と連携し整備促進に取り組みます。

萩の財産を生かしたまち

○孔子廟の移設と旧明倫小学校3、4号棟および屋内運動場の在り方については、検討組織として「旧明倫小学校検討委員会」を設置し、委員会からの答申を踏まえ、本年度中に市民の皆様と結論をお伝えします。

○昨年7月に日本版DMO候補法人に登録された萩市観光協会を「萩版DMO」として組織強化するため、全国公募によるマネジメント責任者の配置等を支援します。



萩博物館 夏の企画展「未確認生物」4万人を突破（8/18）し、5万人に迫る勢い

す。

○2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、今年5月にロシアのオリンピック委員会が視察した「阿武川特設力又ー競技場」を世界大会等を含めたキャンプ地となるよう誘致活動を積極的に推進します。

新たな体制

○これまでの「萩まちじゅう博物館」を基軸としたまちづくりには、今後は「産業振興」を新たな基軸に加え、外部の知見や技術も積極的に取り入れ、市政を運営します。

○7月からは、『市民ファースト』による施策を進めるため、市民の皆様と直接対話する場「市民ファースト×萩・移動市長室」を新たに開設します。

○明治維新150年の記念事業、県職員の併任徴収制度による収納対策を開始するほか、教育や医療

などさまざまな分野において、山口県との連携を強化します。

萩市のホームページで、市長の日々の活動を紹介しています

萩市ホームページで開かれた市政の推進のため、藤道市長の日々の活動を紹介する「市長の1日（活動報告）」が、7月7日から始まりました。

市長が出席する行事等について、写真と簡単なコメントにより紹介している。7月に出席したつばき会、指月会の広島支部総会の様子も集合写真とともに掲載されている。

萩市公式ホームページ内の「市長室（市長の1日）」で月ごとに紹介。



つばき会広島支部総会（7月8日）

東京オリンピックピックカヌー競技のメダル候補 萩市在住の足立和也・岡崎遥海選手

カヌー競技でワールドカップ3位となった足立和也さん（山口県体育協会所属、26歳）と、ジャパンカップで優勝した岡崎遥海さん（至誠館大学1年、19歳）が、7月5日、萩市役所を訪問し藤道市長に報告した。両選手はともに、萩市川上の阿武川特設カヌー競技場で練習している。

川上の阿武川特設カヌー競技場は、日本カヌー連盟の公式戦「ジャパンカップ」開催地でもあり、練習環境や指導者に惹かれた国内のトップ選手が萩市に移住している。

足立選手は、7月2日までドイツで開催された「カヌースラロームワールドカップ第3戦」のカヌーシングルスで3位。昨年9月



藤道市長（中央）に報告する足立和也選手（右）と岡崎遥海選手

にスロベニアで開かれたワールドカップ最終戦以来、2度目の銅メダルを獲得。神奈川県出身の足立選手は、2012年に大学を中退し、競技に専念すべく萩市に移住。阿武川特設カヌー競技場を練習拠点に、ワールドカップで欧州を転戦、昨年の銅メダルは日本人として初めて。「3年後の東京オリンピックでもメダルを狙っているよ。頑張りたい」と話している。

岡崎選手は、6月25日まで青森県で開催された「カヌースラロームジャパンカップ第4戦」で、カヌーシングルスとカナディアンシングルスでともに優勝。昨年はアジア選手権でチーム優勝の経験はあるが、ジャパンカップの優勝は初めて。広島県出身の岡崎選手は、中学から練習拠点は川上のカヌーコース。今年3月、萩商工高校を卒業し、萩市内の至誠館大学に入学。藤道市長は「萩市には世界に誇るスポーツ選手がいる。2020年東京オリンピックのメダル候補がいること、カヌー競技場が川上にあることをもっと知っていただき、応援してもらいたい」と話している。

萩高校 来年度から理数科に代わり「探究科」を新設

萩の魅力が詰まった「おたからマップ」16地区分をダウンロードできます

萩まちじゅう博物館では、2013年から地域のおたからや隠れた魅力を財産として、まちづくりや観光に生かしていくため「萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業」に取り組んでいる。これまでに萩市内16地区の「おたからマップ」を作成・配布している。

マップはA3版4つ折りで、各地区の地図とともに名所や名物、地元出身の偉人らを紹介。写真やイラストを使って、歴史や自然、文化の見どころを分かりやすく紹介している。

■市内16地区
13年度Ⅱ旧松本村、むつみ、明木、佐々並
14年度Ⅱ堀内・平安古・城下町、土原、川上、福栄

15年度Ⅱ川島・藍揚川、笠山・越ヶ浜、須佐、田万川
16年度Ⅱ椿、大島、大共、三見
（17年度予定Ⅱ浜崎、江向、相島）
マップは萩博物館、萩・明倫子舎などで無料配布のほか、萩まちじゅう博物館のホームページ内の「萩データベース（萩まち歩きマップ）」からダウンロードできる。



今春発行の椿、大島、大共、三見地区のおたからマップ ☆読者プレゼント

萩高校の「理数科」の募集を来年度から停止し、「探究科」を新設することが、6月、山口県教育委員会から発表された。探究科は自ら課題を発見し、その解決を図る学習を重視する学科で、今年度からすでに宇部高校と下関西高校に設置され、萩高校は県内3校目。

萩高校の学科は現在、普通科（定員120人）と理数科（30人）。普通科の入学人数は定員に対して、昨年は28人、今年度は10人の定員割れが続いている。なお、7月に来年度の入学定員が発表され、普通科110人、探究科40人となる。

探究科は2年次から、人文社会科学科と自然科学科に分かれ、専門的な科目を学ぶ。2020年から予定されている大学入学者

選抜改革に対応するため、主体的・能動的に課題解決を図る学習を重視し、次代を担うリーダーとして活躍できる人材を育成する。高校の魅力アップを要望してきた藤道市長は「萩市からの要望が取り入れられ大変うれしく思う。今後、学校関係者が一体となつて活力ある教育活動を展開され、より一層通いやすくなる萩高校となるよう期待します」と話している。



理数科が入る第2棟校舎

弘中 勝久 さん

(旧むつみ村吉部出身、
萩工業高校昭和47年卒、63歳)



副知事室にて

推進計画」には最初から関わらせていただきました。その産業戦略を引き継がれ、深刻な人口減少をはじめとした県政の課題を克服し、「活力みなぎる山口県」を実現するために全力を尽くされている村岡知事の下で、今、私は副知事を務めています。自らの責任の重さを感じ、全身全霊を尽くす覚悟です。

人が私の財産

自らの半生を振り返ると、失敗ばかりを繰り返している人生です。適性を考えずに、就職に有利だろうと萩工業高校機械科を選んだものの、製図や実習を経験すると、あまりの適性のなさに1年生の後半で早くも挫折。今でも製図の提出期限にうなされる夢を見るほどです。悩み、悩み、両親に頼み込み、文系の大学に進学する決意を固めても、学力不足は否めず、現役では不合格。1年浪人して長崎県立国際経済大学によく入学。就職した県庁では、本当によく上司とぶつかり、降格と左遷も経験しました。

しかし、そんな私を励まし、仕事をやる場を与えていただいた上司や先輩、友人、県議会や企業の関係者をはじめとした多くの方のお力のお陰で、今日までなんとか勤めることができたと思います。人が私の財産です。その恩を忘れ

ず、微力でも世のため、人のために尽くすことを自らの戒めにしていきます。

故郷は心の中に

私は旧むつみ村の吉部小学校、吉部中学校を卒業しました。私のスマートフォンの中には、吉部小学校の同級生と一緒に写った卒業写真が入っています。5年前に、小学校時代の恩師、阿武博道先生をお訪ねした時にいただいた大切な写真です。その写真を見ると半世紀あまり前の幼い自分に戻ります。

一番思い出すのは雪の深さです。雪の日の通学、真冬の剣道の寒稽古など、当時は辛かったですが、今になると耐えること、やり遂げられた充実感を身体で学べたと思います。

同級生から「猪肉があるから、帰ってこい」などと誘われますが、むつみ村に帰ると気持ちがあらざる



吉部小学校の卒業写真

ます。よいときも、悪いときも、私の心の中にある、私を支える大きな存在、それが故郷むつみ村です。市町村合併でむつみ村は萩市に変わりましたが、私は故郷が大きく変わったと思っています。むつみ村が好きなのに、萩市を故郷として大切にしたいと思っています。

今年3月の萩市長選挙で、藤道健二市長が誕生しました。

故郷の元氣は私に大きな力をくれます。山口県の中でも人口減少や少子高齢化の厳しい萩市ですから、藤道市長のご苦労は大きいと思います。是非とも萩市の活性化に頑張っていたきたいと期待しています。私もお役に立てることがあれば、頑張らないといけません。

プロフィール

1953年(昭和28年)12月、萩市吉部生まれ。72年3月山口県立萩工業高校(現・萩商工高校)機械科卒、77年3月長崎県立国際経済大学(現・長崎県立大学経済学部)卒。同年4月山口県職員に採用され、企業立地推進室次長、林政課長、農林水産部審議監、同部次長などを経て県議会事務局局長を最後に2013年3月で山口県を退職。同年4月山口県公営企業管理、16年4月に現職の山口県副知事に就任。

4人の知事

私は昭和52年(1977年)4月に山口県に採用され、県職員としての勤務は今年で41年目になります。平井龍、二井関成、山本繁太郎という歴代の知事、そして現在の村岡副知事に至る四代の知事の下で働かせていただいています。

私がまだ30代半ば、商工労働部中小企業課金融係長だった時に、宴席で、当時の平井知事から「君

が金融係長か。福々しい顔をしているな。福々しい顔の君が金融係長なら安心だ」と言われ、何度もお酒を注いでいただいたことは若き日のよき思い出。二井知事の下では、山口きらら博や全国植樹祭の計画策定、やまぐち森林づくり県民税の導入などに携わりました。体調の思わしくない中で、命を削るように仕事をされていた山本知事とは、国土交通省に勤務されていた時から懇意にさせていたいただき、山本知事の掲げられた「産業戦略

経営の見える化で新事業、海外展開を進める

株式会社 **美萩工芸**

代表取締役 **小野博巳** さん (55歳、阿武町出身、萩商業高校昭和55年卒)



経産省より認定の盾を持つ小野博巳社長(左)と前田信太郎さん



国内最大級の木箱製造(伝統工芸品、酒・ワイン、ギフト、おせち重箱など)

どのような表彰ですか

萩市で創業し、萩市に生産工場を持つ木箱製造業の株式会社美萩工芸(本社東京)が、今年5月31日国の「攻めのIT経営中小企業白選」に選定されました。社長の小野博巳さんにお話を聞きました。

以前の状況は

システムは、萩事務所内において1台のサーバーがあるだけでした。全国7カ所の営業員は、自分

のPCで見積りから、受注・生産指示、仕入品発注まで個々に入力を行い、萩事務所へはFAXで送り、萩事務所システム入力していました。

また、生産・在庫管理も別PC管理のため、受注に対する工場での製造状況が月末に締めないと確定できず、おせち重箱の年内納品が可能な受注可能数が明確にできない問題を抱え、過剰受注や売り上げ機会の損失を招いていました。

新システムで変わったことは

2013年度に新ホームページを公開し、14年度にクラウド環境で新システムを稼働させました。営業員の見積書作成・受注兼作業依頼票(生産指示票のこと)作成・仕入依頼票作成が、1回の入力ですべて済むようになりました。従来、萩事務所で行っていた受注確定

請求処理も営業員が一貫して担うようになったため、顧客からの問い合わせにも、PCやモバイルを見れば回答できるなど、顧客サービスも大きく向上しています。

IT経営による成果は

最大の成果は、受注や製造状況などがリアルタイムに把握できるようになり、「経営の見える化」が実現できたことです。新システムにより、受注と生産活動がスムーズに連携し、製造ラインを効率よく稼働させ生産性を上げ、売り上げの増大に寄与しています。

新システム導入前の12年度は、製造能力が日産1万箱、売上は約12億円でしたが、製造ラインの新設に踏み切り、製造能力を日産最大1.5万箱に高めました。この結果、新事業にも進出を果たすことができ、今年6月決算の売上は約15.5億円となりました。

新事業へ進出してからは

新事業として、手延へ素麺(そうめん)箱の製造販売を始めました。擔保などが有名な手延へ素麺ですが、箱は伝統的に14力以上で釘打ちしてあり危険です。今、弊社の釘ナシ素麺箱が、素麺メーカーや百貨店などに安全面、品質面、量産面で高く評価されています。

弊社にとっては、年末納品が集

中するおせち重箱の売上比率が高まる中で、夏場に納品が集中する素麺箱の製造で、生産活動が平準化するとともに、資金繰りも改善できるようになりました。

IT経営取り組みのきっかけは

萩出身で東京におられるITコーディネータの前田信太郎さん(萩高校昭和41年卒、東京指月会幹事長)と知りあったことに始まります。ホームページの改革から相談に乗っていただきましたが、そのうち、わが社の業務や経営の指導を受けるようになり、新システムの導入で経営の見える化の実現に貢献していただきました。

今取り組んでいる海外展開の案件では、代理店の開拓や海外向けのパンフレット作りから商標登録まで、これまで自社ではできなかったことを支援していただいています。

株式会社美萩工芸
 本社/東京都文京区湯島3-21-4
 三倉ビル6階
 生産工場/萩市大字山田東沖田4184番地
 営業所/東京、札幌、輪島、多治見、大阪、九州(福岡市)、萩
 従業員/150名
 電話/03-5816-1185、
 萩事務所08388-222022
<http://www.mihagi.co.jp/>

自然派ワインとフランス郷土料理

東京・渋谷

ChouChou

—萩の食材でつくるフランス料理—



人気メニューの長萩和牛



落ち着いた雰囲気の内



オーナーの片野裕介さん

渋谷の賑やかな喧騒を抜け、高層ビルのセルリアンタワー裏のビル1階にあるおしゃれなガラスの扉を開ければ、木の温もりが溢れる落ち着いた空間が広がり、幅の広いカウンターとテーブル席が数席。出迎えてくれたのは優しい笑顔のオーナーシェフである神奈川県厚木市出身の片野裕介さん（32歳）。2016年10月に「自然派ワインとフランス郷土料理ChouChou（シュシュ）」をオープンした。

ChouChouという店名はフランス語で「お気に入り」という意味の造語でシェフ自身が本当に気に入った食材をお客様に提供し、喜んでいただきたいという気持ちを含めて命名した。

萩出身の奥さんがきっかけで、萩の食材と出会う

そんなシェフが魅せられ、お気に入りになったのが萩の食材である。きっかけは萩市椿出身の奥さん、片野美奈さんの存在。シェフが五反田の人気店「スペインバルジローナ」で修業をされているときに、奥さんと知り合い、今から3年前に結婚。

奥さんと萩に帰省される際に、シェフは「萩ミート販売」や道の駅萩しーまーと内にある「三井水産」、歴史ある造り酒屋「中村酒造」などを紹介してもらい、生産者が

愛情こめて育てた、一つひとつの上質な萩の食材に惚れ込み、「これはいける!」と確信した。

人気は「長萩和牛」

ChouChouでは、萩の食材でつくるフランス料理がコンセプト。萩から直送の鮮魚はブイヤベースやカルパッチョで豚肉は半頭買っている「むつみ豚」を自家製のシャルキュトリー、ロースの部分にステーキを提供している。

メニューの中で特に人気なのは「長萩和牛」だ。甘みを備えた芳醇な味わいの肉質はステーキにすると絶品で、一度食べれば、口の中でとろける柔らかさと濃縮された旨みのとりこになり、これ目当てにリピートされるお客様も多いようだ。

奥さんお手製のこだわりのパンも常時6種類程度用意されている。また、店内の大型ワインセラーには、目移りしそうな400種ほどの自然派ワインが保管され、スタッフに尋ねると料理に合うワインを優しく教えてくれる。

萩は食材が豊富で、味は一級品

「萩は食材が豊富で、味はもちろん一級品ですが、萩市内で提供する飲食店もまた素晴らしいと感じました。料理人としてのレベルはもちろん、萩の食材の良さを生かすように工夫して調理されてい

とても勉強になります。」

また、萩に足を運ぶ度に、熱い思いの料理人たちとのネットワーキングもできてとても楽しいという。

「今はイノシシのジビエ（野生鳥獣の食肉）に興味を持っています。これも萩の知り合いに道の駅『うり坊の郷 katanata』を教えてもらったことがきっかけでした。今では妻より萩に詳しくなっているかもしれない（笑）。すつかり萩のファンになっちゃいましたよ」と屈託のない笑顔で話すシェフ。店内には萩のポスターや観光パンフレットなども置いてあり、萩が溢れている。

デートはもちろん、女子会や各種宴会など、おいしく楽しい時間を過ごせる素敵なお店だ。

■自然派ワインとフランス郷土料理 ChouChou

アクセス／渋谷駅西口、歩道橋を渡り徒歩5分。セルリアンタワーを越えて、南平台の信号を左折して左手。

住所／東京都渋谷区桜丘町30-10 青野ビル1F

電話／03-6416-3868

営業時間／ランチ 11:30~14:00、ディナー 17:30~24:00

定休日／日曜日
キャパ／23名

器の魅力を発信

代表 熊谷 信力 さん (38歳)



代表の熊谷信力さん



◁浜崎の魚市場前にある白い建物、テラス席も併設



明るい陳列スペース▷

萩焼をはじめ、有名・無名を問わず全国各地の作家の作品を多数取り扱い、さらには、萩焼窯元のみならず、料理人や酒蔵などともコラボレーションをして、器の魅力を発信しているGALLERY JIBITA。2013年7月にオープンし、軌道に乗り始めた3年目となる昨年3月、隣家の火災にまき込まれ焼失。苦難を乗り越え、昨年12月、萩市浜崎に晴れて新店舗を構えたオーナー・熊谷信力さん(萩高校平成9年卒)にお話を聞きました。

美を探り発信

父が焼物屋で、幼少よりその側で陶芸の世界を覗てきました。大人になり、業界に身を置き、歳を重ねるにつれ、時代の移り変わりとともに陶芸業界のイメージと陶芸市場にギャップが生じているのを感じていました。本来、陶芸は食文化と共にあります。食事には空腹を満たす行為だけでなく、人生を豊かにする文化的行為としてもあり、器はその資質を更に向上させる役割を持ちます。それゆえ、これまで陶芸市場は嗜好品で高価なイメージが先行するようになってきたかと思えます。

しかしながら、時代は変わり、現代では、イメージに反して手に入れやすい価格帯となり、色や造形も生活に取り入れたいくなる魅力

的な器が多くなっています。もちろん、それらの中身は玉石混交ですので、作品だけでなく、その作家の姿勢や知識、考え方を考慮し、選りすぐったものだけを取り引し、展示するギャラリーを設けることで、陶芸の普及と文化的資質の向上につながるのではと考え構えたのがGALLERY JIBITAです。

プロジェクト

陶芸の普及を目指すところで、もちろん地元萩焼の将来も考えます。2014年にスタートした「N400プロジェクト」は、低迷する萩焼業界の再興に向け、萩焼の400年の歴史を布石として、次の400年に向けての新たな萩焼作りを目指したものです。今ある萩焼業界の問題解決のために、素材・機能・デザインの変化を大きく行つた物作りに賛同くださる窯元と共同して進めています。

また、素晴らしい自然と素晴らしい食材があるこの萩で、更なる食文化向上を考え、料理人や酒蔵とコラボもしています。夜の菊ヶ浜でフレンチを楽しむという企画もしました。今思えば、勢いだけで取り組み、それゆえ苦労もありましたが、その経験から、新しい店舗は菊ヶ浜の近くに構え、また厨房設備も併設するギャラリーという発想にもつながっています。

次世代へ

順調のように思えますが、火災から新店舗開店の間は先かどうなるか分からない状態でしたし、「N400プロジェクト」にしても職人さんが定年間で後進の育成が課題となっています。萩焼職人・萩焼作家という職業の選択肢があるということを次世代に知ってもらいたいです。

大きい夢でいえば、授業や部活など学校教育の中で、それができればと思いますが、作家さんと教育機関側の共感と賛同が必要不可欠です。もちろんいきなり大きいことは無理なので、一人ひとりが少しずつ一緒に体現してくれる人を見つければ、次世代に機会を与えることが増えればと思います。

陶芸業界から萩を押ししていく地元が盛り上がる。その可能性を求め、自らができることは何かを考えJIBITAは取り組んでいます。

■GALLERY JIBITA
〒758-0024 萩市東浜崎町138-6
(萩浜崎卸売魚市場前)
0838-22-8725
営業時間/9時~18時
店休日/金曜日 第3日曜日
WEB <http://jibita.com>

連載 萩の産業遺産を歩く(二)

―郡司鑄造所跡①(椿東・松陰神社前)―

道迫真吾(萩博物館主任学芸員)

巨砲の生産拠点 「郡司鑄造所跡」

郡司鑄造所跡は、幕末、長州藩が実戦で使用した青銅製洋式大砲の生産地跡である。当時としては非常に巨大な、三メートルを超えて洋式カノン砲を製造することが可能であった。江戸時代に伝統的な「たたら」の技術で大砲を鑄造した場所で、発掘により遺構が確認された事例としては、日本唯一である。平成十六年(二〇〇四)に、郡司鑄造所遺構広場という新しい公園に生まれ変わった。

郡司鑄造所跡は、松陰神社のそばを流れる月見川の北側に立地する。萩市中心部から紫福・むつみ方面へと向かう交差点の一角に位置しているため、割と人目につきやすい。だが、好立地であるにもかかわらず、平日はおろか休日でもさえも、ほとんど人影を見かけることはない。たまに、近所の椿東小学校の児童たちが遊んでいる姿を見る程度で、大人の姿はまれにしか見ることがないのである。

このように大変寂しい状況であるが、もしも郡司鑄造所跡が世界

遺産登録の条件を満たしていれば、非常に無念に思う。それは、新しい道路を敷設することを優先したため、遺跡の重要な部分を改造せざるをえず、公園化することになったからである。結果、遺跡としての完全性や真実性が損なわれ、世界遺産登録の資格を失った。もし完全にオリジナルを残すことができていたら、「明治日本の産業革命遺産」における萩市の構成資産が五件ではなく、六件になっていたことはまちがいない。

「郡司」は「幻の世界遺産」

今回はかなりネガティブな表現で話を始めたが、それは、筆者が



▷郡司鑄造所跡周辺地図

つぎのように、決して忘れられない苦い経験をしたからである。平成十八年(二〇〇六)十月、イギリスから二人の産業遺産の専門家が萩を訪れた。彼らの目的は全国各地の産業遺産を視察してまわることにあり、萩反射炉を見るや、即座に「これは世界遺産の価値がある!」と断言された。その流れで郡司鑄造所跡も案内したところ、彼らは一転して「なぜこのように貴重な遺跡を改造したのか?意味がわからない!」と顔を紅潮させながら、筆者を含む萩市職員を叱責された。筆者は当時、世界遺産登録などはまったく意識していなかったたので、大変当惑した。

後になって気づいたことだが、あのときイギリスの専門家は、郡司鑄造所跡も萩反射炉と同様にほかの産業遺産と一まとめにすることで世界遺産に登録できたはずだと、価値の高さを認めたにちがいない。ところが、新設道路の計画を変えずに遺跡を改造したことに対して、彼らは憤りに近い言葉を吐くしかなかったのだらう。

もう、今となっては取り返しのつかないことではあるが、当時の



大砲鑄造用の石組遺構(2001年撮影)

行政の決断が間違っていたとは、筆者には断じることができない。なぜなら、当時の社会情勢としては、市民生活の向上と利便性の観点から、遺跡の保存よりも道路を優先するというのが至極常識的な判断だったと思われるからである。だが、もし仮に世界遺産登録の話がもっと前の段階で萩市に届いていれば、郡司鑄造所跡はオリジナルの破壊を免れていたかもしれない。筆者はこの悔しい経験を踏まえて、郡司鑄造所跡を「幻の世界遺産」と呼ぶことにしている。

このように、産業遺産の保存はきわめて難しい。専門家を除いては、少数の人にしかその価値を理解されることがないからである。過去には、吉野ヶ里遺跡ほかの古代遺跡の発掘後、都市開発や道路敷設が見直しになるケースもあった。これらには、太古のロマンという大勢の人々を魅きつける力があるからにはほかならない。しかし、

地味な産業遺産である郡司鑄造所跡は不運にも、その稀少性と価値を理解されることがなく、わざわざ人為的に壊す羽目になったのだ。

「郡司」の何を改造したのか

郡司鑄造所跡は「生きた教訓」ともいえようが、それでは、遺跡のどこをどう改造したのか、簡単に説明しておきたい。

この遺跡でもっとも価値が高いと見なされたのは、冒頭に紹介した大砲鑄造用の遺構である。高低差は約四・五メートルもあり、石を精緻に組み上げて造られていた。この遺構は平成十二年(二〇〇〇)、略地図に示すように、現在の県道一―号線と県道六七号線との交差点付近で発見された。初めて現場で見たときの迫力は、いまでも鮮明に覚えている。当時すでに、月見川には新しい橋がかかけられ、道路が遺跡の目の前にまで迫っていた。

遺跡の保存について専門家を交えて議論した結果、道路敷設を中止することはできず、やむなく同じ遺跡の敷地内に移築するという方法をとることになった。よって現在私たちは、遺跡の真上を通行していることになる。

今回は、「幻の世界遺産」たる郡司鑄造所跡の歴史的価値について、筆者が最近発表した研究論文の成果にもついでに言及したい。

英語版ガイドブック「秋の世界遺産」を発行

萩城下町や松下村塾など萩市の5つの構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録されてから、7月8日で2周年を迎えた。

萩市ではこれを記念して、英語で「秋の世界遺産」を知り、楽しむことができる公式ガイドブックを発行した。構成資産を擁する8県11市のなかで初となる。

英訳は国際交流員のオテイリアーさん

今年4月に萩ものがたりシリーズとして発行された「秋の世界遺産―日本の工業化初期の原風景―」（萩博物館主任学芸員・道迫眞吾著）を英訳したもので、英訳を担当した萩市の国際交流員で英国出身のオテイリアー・ステイヴエンスさん（25歳）に聞いた。

「日本語を直訳するのではなく、英語圏の人が分かりやすいように説明を加えた。例えば、背景となる幕末の歴史が分かりづらいので、幕末から明治の説明を加えたり、たたら製鉄の説明をプラスしたり、読み手を考えながら翻訳した」

「世界遺産デジタルセンターの展示パネルを1年前に英訳したこ

とが役に立った。2年間の国際交流員としての仕事で、ガイドブックという形となつて残ることが本当にうれしい。萩の魅力は歴史と文化です、これからも大事にしてほしい」。

オテイリアーさんは、8月末に萩市の国際交流員としての任期を終え、今後は世界と萩市との友好の架け橋となるよう「萩フロンティア大使」として、次の任地・東京で活動する。

外国人だけでなく、英語を学習する高校生などにも推奨できる英語版ガイドブックは、萩博物館・萩・明倫学舎などで販売。A5版72ページ、620円。



英語版・日本語版「秋の世界遺産」を手にするオテイリアー・ステイヴエンスさん

☆読者プレゼント

道の駅・萩しーまーと通信 旬のお魚「秋の金太郎」

8月に入り休漁が明けた小畑地区の小型機船底ひき網漁がスタート。この船の漁師がああ「金太郎」を獲ってきます。

見島沖の船上ですぐに箱詰め

漁期は毎年8月1日〜翌5月31日。一隻に5〜6人の漁師が乗り込み、朝3時頃に出発します。萩市見島沖の漁場に到着し、かけまわし漁法で漁を行います。カレイ、ヒラメ、アマダイ、アンコウ、タイ、イトヨリ、ホウボウなど季節ごとにさまざまな魚種が網にかかります。その中に金太郎が交じって漁獲されます。

水揚げされた魚は、船上で漁師の手により魚種ごとに選別さ



金太郎（ヒメジ）

れます。選別後、すぐに氷を敷いた箱に魚を詰めます。鮮度保持に気を配りながら漁が続けられます。

夕方6時半から7時頃船は戻ってきます。船上で、既に選別された魚種ごとに箱に詰められている魚が港に運び込まれます。金太郎の出荷先は主に山口県内です。市場の冷蔵庫に保管され翌朝午前2時から始まる萩の競りにかけられます。

刺身で食べると絶品

萩市がブランド化したことで、広くその名が知られた「金太郎」。標準和名は「ヒメジ」です。成魚は全長20センチほど。前後に細長く、淡赤色の小さな魚です。あごしたにある黄色い2本のひげも特徴です。

萩では、南蛮漬け、塩焼、一夜干しの料理法で昔から親しまれてきました。ブランド化をきっかけにフランス料理に使用される高級魚「ルージュ」の近縁種であることがわかり、萩産金太郎をオイル漬けにした「オイル・ルージュ」という新しい食べ方の商品も生まれました。白身で旨みも濃く、和食、洋

食ともに適する食材です。いろいろな食べ方がある中でも、体が小さく小骨がありますが、少し手をかけ刺身で食べると絶品です。

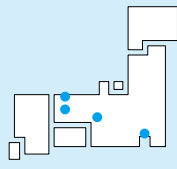
■第22回 萩・魚まつり

10月8日（日）9時30分〜15時／道の駅萩しーまーと&山口県漁協萩地方卸売市場
内容 山口県北部地区最大規模のお魚イベント。例年3万人以上の入出、萩市で水揚げされた約50種類もの活魚・鮮魚の即売のほか、金太郎と平太郎の一夜干し無料試食、魚のつかみどり（小学生以下）など、大人から子どもまで楽しめます。



金太郎炙り寿司

同窓会・同郷会だより



情報
ください
!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿  6月24日 ホテルかめ福(山口市)

つばき会山口支部



第7回総会に23名が出席しました。来賓として萩工業高校機械科卒業の弘中勝久副知事も初めて出席。

商業高校昭和38年卒の演歌歌手・阿部うた子さん(三隅出身)のカラオケ披露など大いに盛り上がりました。
事務局 山根隆(山口市)



昨年4月に「角島エレジー」を発売した阿部うた子さん

会員投稿  6月17日 ホテルニューオータニイン東京(東京都)

東京ふるさと阿武町会



首都圏在住の阿武町出身者等で組織する、同郷会「東京ふるさと阿武町会」の第4回大会が6月17日、東京都内で開催され、50名が出席しました。町外在住者にも応援していただきたいと都市住民との交流強化を図るため、広報あぶの有料購読者などに広く呼びかけを行い設立され、今年で4年目を迎えます。

総会では福賀出身で同会会長の三木正市さん(株式会社東京アート会長)があいさつ。懇親会では町の近況映像やクイズ、最後は奈古、福賀、宇田郷3地区の出身中学の校歌を斉唱するなど、旧交を温めました。来年、第5回大会は6月16日の予定です。

阿武町まちづくり推進課

会員投稿 

やまなみ 関西山峡会

6月25日 太閤園(大阪市)



旭村・川上村の関西地区同郷会「関西山峡会」(青水勉会長)は、第29回目を迎え、6月25日に大阪市都島区の太閤園で開かれました。来賓皆様と合わせて総勢59名の楽しい集いとなりました。

総会は、青水会長の開会の挨拶から始まり、ご来賓の皆様からお祝いのお言葉や「ふるさと納税」また「平成30年は明治維新150年を迎える」などのお話をいただきました。第2部懇親会は、ふるさと方言クイズ、カラオケ大会に合わせて自由なダンスや抽選会などで大いに盛り上がりました。最後に参加者全員で万歳三唱し、来年は設立30周年の総会を迎え記念ある総会にしたい旨を説明し、参加者に協力をお願いと元気な再会を誓い合いました。

堀野克麿(大阪府茨木市)

第68回萩高等学校同窓会(八八会)は、過去の今の未来の「一步」をテーマに開催し、約500の方にご来場頂きました。当日は高校卒業から一步踏み出した同級生の今の写真や、地元や世界で活躍している同級生の映像を集めたアルバムムービーを放映させて頂きました。

卒業生の減少に伴い、在萩の同級生の減少傾向、子育て世代でもあるため、会場にキッズコーナーを設けたり、限られた人員でも来場される皆様に楽しんで頂けるようドリンクコーナーを会場中央に設置したりと、新たな試みを取り入れ、とても好評でしたので、「引受期」として一步踏み出したおもてなしが出来たのではないかと考えております。
事務局長 吉村裕美子(旧姓:田中)

萩を代表する工芸品「萩焼」

「萩の風」では萩地域の魅力ある工芸品を数多く取り揃えて販売しておりますが、その中でも「萩焼」は主力商品のひとつです。

素朴で柔らかな風合いを持ち、400年の歴史がある萩焼ですが、店頭では伝統技術を用いた「作家作品」といわれるものから、日常使いのできる生活用品まで、さまざまな種類を取り揃え、色やデザインなどにこだわった魅力ある商品を販売しています。

店舗には常時約1000点をストックしており、都心における萩焼の展示数は最大級です。
■国内外に萩焼の魅力を情報発信

「まるごとにつぼん」は東京・

浅草の浅草寺近隣に立地しているため、多くの外国人観光客が訪れます。萩焼は特に外国人観光客に人気があり、萩焼の持つ素朴な風合いが賞賛されています。

また、浅草近郊にお住いのお客様にも好評で、中には熱心な萩焼ファンになられた方もいらっしゃるほどです。

店頭では、季節に応じた商品をセレクトし特設エリアにて萩焼のある暮らしを提案しています。

夏には涼しげな色合いの「ピアカップ」、食を楽しむ秋には「茶碗」や「酒器」など展示しており、多くのお客様に楽しんでいただいております。その他、店内企画として、萩焼の人

気投票や、昨年は店頭で萩焼作家によるロクロの実演も実施したところ、好評を得ることができました。

これからも秋市のアンテナショップとして、萩の伝統工芸品を国内外に情報発信してまいります。

取扱作家も多く、見ごたえあふれる「萩の風」にごうぞお立ち寄りください。

■萩焼協同組合

服部天龍樹、萩焼いとう、萩焼あらせ、昭雲堂、陶の杜、(有)勝景庵、松雲山、小萩窯

萩市東田町19-2

■まるごとにつぼん「萩の風」
 東京都台東区浅草2-6-7
 TEL03-5828-5055



「萩の風」に陳列された萩焼



昨年開催した「ぐい呑み杯」など季節に応じた企画展を実施

学校だより

萩光塩学院 円型校舎に代わり、 11月新校舎完成

1955年に建てられ長年にわたり親しまれた円型校舎は、昨年11月から解体が始まり、今年10月末に3階建ての新校舎が完成予定。11月1日の同校開校記念日に竣工式が行われます。



会員投稿

8月8日 萩高校体育館(萩市)

萩高校同窓会総会八八会



引受期(平成14年卒、54期)

情報アラカルト

関東地区

■東京指月会

関東地区の萩商工高同窓会、今年は創立50周年記念大会。元宮内庁長官・羽毛田信吾さん（昭和36年卒）の講演会が午後1時〜。

10月28日（土）午後2時30分〜

東京都千代田区丸の内（東京駅丸の内北口）日本工業倶楽部
（03・3471・0286） 東京

指月会事務局（松本方）

■つばき会関東支部

関東地区の萩商工高同窓会。

11月11日（土）午後2時〜5時

東京都品川区大崎（大崎駅東口）ニューオータニイン東京
（090・3141・7505） 椿

■東京須佐弥寛会

関東地区の須佐地域同郷会。

11月18日（土） 正午〜午後3時

東京都港区高輪（品川駅高輪口）日立金属高輪和彊館
（090・2208・5873） 勝山

■「ツリーズムEXPOジャパン2017」

「明治日本の産業革命遺産」や山口県のPRブースで萩市を紹介。

9月21日（木）〜24日（日）

東京都江東区有明3・11・1

東京ビッグサイト（東京国際展示場）（03・5530・1111）

■鎌倉市姉妹都市（萩市、上田市、足利市、鎌倉市）物産展

萩市から、海産物、夏みかん製品等が販売されます。

10月13日（金）〜14日（土）

鎌倉市小町1・10・5
鎌倉生涯学習センター（きらら鎌倉）
（0467・25・2030）

■まるごとにつぼん「萩の風」物産フェア

萩焼、夏みかん菓子、萩の地酒、地ビール、醤油、蒲鉾など萩の特産品の大即売会。

10月26日（木）〜27日（金） 午前10時〜午後4時

東京都台東区浅草2・6・7 まるごとにつぼん 1階エントランスまるごと広場・2階萩の風
（03・3845・3711）

■萩・世田谷幕末維新祭り「萩観光物産展」

萩市から、萩焼、地酒、海産物、夏みかん菓子等が販売されます。

10月28日（土）〜29日（日） 午前10時〜午後6時（29日は午後5時30分まで）

東京都世田谷区若林（東急世田谷線「松陰神社前駅」下車）松陰神社境内人口横公園
（問）萩商工会議所
（0888・25・3333）

■「柳井嗣雄展-Outsider-」
（0888・25・3333）

萩市出身の和紙造形・美術家の柳井嗣雄（埼玉県）の個展。

9月5日（火）〜14日（木） 午前11時30分〜午後7時（日曜・最終日は午後5時）

東京都新宿区神楽坂6・36・1 神楽坂ビル2F
えすぽすミラボオ
（03・6228・1884）

■「萩 岡田泰 作陶展」

9月13日（水）〜19日（火）

東京都中央区銀座4・6・16 銀座三越7階ギャラリー
（03・3562・1111）

■「木のおもちゃ20作家展」

萩市の守重シゲ子ほか木製玩具作家20人の作品を展示。

9月16日（土）〜平成30年2月4日（日）

東京都新宿区四谷4・20 四谷ひろば内
東京おもちゃ美術館企画展示室
（03・5367・9601）

■萩焼 守繁栄徹・徹「陶道」展

故・守繁栄徹と徹の父子展。

9月28日（木）〜10月4日（水） 午前10時〜午後8時（最終日は午後4時30分まで）

東京都豊島区西池袋1・1・25 池袋東武6F1番地 美術画廊
（03・5951・5742）

■「第21回全国組み木フェスティバルin飯能」

萩市の守重シゲ子ほか全国の組み木作家の作品展示・販売、ワー

クショップ開催

（03・5951・5742）

映画「八重子のハミング」

全国で「あふれる想い」上映中！

上映館は全国に広がり、8月末現在、80館を超える。

■劇場案内（8月21日現在）

○関東地区

東京 下高井戸シネマ（03・3328・1008）9/9（土）〜
神奈川 アミューあつぎ映画.com シネマ（046・206・4541）9/16（土）〜

神奈川 港南台シネサロン（045・831・3377）9/30（土）〜

千葉 キネマ旬報シアター（04・7141・7238）9/23（土）〜

栃木 小山シネマロブレ（050・3196・9000）9/30（土）〜

栃木 フォーラム那須塩原（0287・60・7227）10/7（土）〜

○東北・北海道地区

岩手 フォーラム盛岡（019・622・4770）9/2（土）〜

秋田 ルミエール秋田（018・884・7450）10/7（土）〜

秋田 御成座（0186・59・4974）8/26（土）〜

山形 鶴岡まちなかキネマ（0235・35・1228）8/26（土）〜

福島 ポレポレいわき（0246・22・3394）10月公開

○中部地区

山梨 シアターセントラルBe 館（055・233・3023）8/26（土）〜

富山 JMAX THEATER とやま（076・461・4461）9/16（土）〜

愛知 刈谷日劇（0566・23・0624）7/29（土）〜

三重 伊勢進富座（0596・28・2875）9/9（土）〜

○近畿地区

兵庫 パルシネマしんこうえん（078・575・7879）9/1（金）〜

兵庫 シネ・ピピア（0797・87・3565）10/14（土）〜

○中国・四国地区

広島 八丁座（082・546・1158）8/19（土）〜

広島 シネマ尾道（0848・24・8222）9/9（土）〜

○九州地区

熊本 Denkikan（096・352・2121）8/26（土）〜

熊本 本渡第一映劇（0969・23・1417）11/4（土）〜

大分 別府ブルーバード劇場（0977・21・1192）9/2（土）〜

※上映時間など詳細は各劇場にお問い合わせください。

※劇場情報は決定次第「八重子のハミング」公式ホームページの劇場案内が順次更新されます。

<http://yaeko-humming.jp/>

クシヨップ。

10月13日(金) 15日(日)
埼玉県飯能市栄町24-4
飯能市市民活動センター(丸広百貨店7階)
(042・978・7551)

東海地区

■「三輪和彦 個展」
10月25日(水) 31日(火)
愛知県名古屋市中区栄3-16-1
松坂屋名古屋店
(052・251・1111)

関西・中国地区

■「萩焼玉村信一 一作陶展」
9月7日(木) 13日(水)
広島市中区胡町6-26
福屋八丁堀本店 7階ギャラリー101
(082・246・6111)

■「水津和之茶陶展」
9月19日(火) 24日(日)
広島市中区胡町5-1
広島三越 7階美術画廊
(082・242・3111)

新規(再)加入会員

古屋敷 (山口市)
二宮哲郎 (広島県広島市)
矢田貴子 (大阪府大阪市)
上原幸枝 (山口市)
鈴木貴美子 (大阪府大阪市)
阿部ワタ子 (山口市)
(6月21日) 8月20日 6人

■「SAIKAIの青 納富晋 & コシノヒロコ」
「コシノヒロコ」の絵画・絵皿と納富晋の陶器の競演。
10月27日(金) 11月27日(月)
の金・土・日・月曜日
兵庫県芦屋市奥池町17-5
KHギャラリー芦屋
(0797・63・5678)

九州地区

■九州指月会
九州地区の萩高同窓会。
9月10日(日) 正午
福岡市博多区博多駅(筑紫口すぐ)ホテルセントラーザ博多
(093・201・6303) 廣瀬

つばき会九州支部

九州地区の萩商工高同窓会。
10月21日(土) 正午
北九州市小倉北区小倉駅ビル7階
ステーションホテル小倉 7階レストラン テラス
(090・4358・2659) 竹内

山口県関係

■山口指月会
山口地区の萩高同窓会。
10月18日(水) 午後6時30分
山口市湯田温泉 翠山荘
(0838・25・3377) 中原

萩市関係

■萩商工高校同窓会つばき会
萩商工高つばき会の本部総会。

10月14日(土) 午後6時
会費3000円(弁当代、福引代含む)
萩市平安古町544
萩商工高校体育館
(0838・22・0034)

■サム・ディマウロ作品展
オーストラリア在住のデザイン講師・家具デザイナー・陶芸家。萩出身の廣澤洋子宅に保管していた作品を展示。萩光塩学院同窓会が後援。
8月31日(木) 9月24日(日)(火・水曜日)は休館
萩市川島294
カフェギャラリー 藍場川の家
(0838・26・1536)

■萩市美術展特別展「佐伯信夫展」
香月泰男に師事し、萩を拠点に活躍した江向出身の洋画家、佐伯信夫(1914年〜95年)の作品展。萩市ゆかりの作家展は、村上景介、水沼兼雄、大和義男に続き4回目。
9月14日(木) 18日(月) 祝 午前10時〜午後6時(最終日は午後4時)
萩市民館小ホール
(問) 萩市文化・生涯学習課
(0838・25・3511)

■熊谷美術館「伝えたい日本のこころ 中村麻原画展」
10月1日(日) 29日(日)、11月1日(水) 30日(木) 午前9時〜午後4時
入館料 大人860円、高校生以下無料

■薩長「志」シンポジウム
講演、パネルディスカッション。
基調講演 林修(東進ハイスクール・東進衛生予備校現代文講師)
演題 「覚悟」を持って生きる
10月29日(日) 午後2時〜5時
萩市民館大ホール
受講料 無料(要事前申込)
(問) 萩市企画政策課
(0838・25・3342)

■萩陶芸家協会設立25周年記念展「茶陶の現在」2018萩
萩陶芸家協会所属の陶芸家約80人の茶陶のほか、桃山から現代までの楽焼、唐津焼などを展示。
12月2日(土) 平成30年1月8日(月・祝)

下無料
萩市今魚店町47 熊谷美術館
(0838・22・7547)

■「松下村塾の教えと新時代へのあゆみ」松岡の英傑 高杉晋作
10月14日(土) 平成30年4月17日(火)
入館料 大人500円、中・高校生250円
松陰神社宝物殿 至誠館
(0838・24・1027)

■「墨とハープのあるふつうの暮らし」森川翠水「萩の町を描く」水墨画家・森川翠水(萩市小川出身、萩高卒)と京子夫人の共著。萩の町を描いた35作品を収録。
日置出版社 2000円(税別)

日(月・祝)
入場料 無料
萩市平安古町586-1
山口県立萩美術館・浦上記念館
(0838・24・2400)

出版情報

■「道」の駅ゆとりパークたまかわ
12月末リニューアルオープン
特産直売店の売場拡大と地域交流機能を強化するため、7月18日から閉館、リニューアルオープンは12月末予定。
特産品販売は仮店舗で営業、飲食店街の味番地は、通常通り営業。
道の駅ゆとりパークたまかわ
(08387・2・1150)

お知らせ

■萩ものがたり「萩の世界遺産」・英語版ガイドブック2冊を2名様
②「おたからマップ」ご希望の地区を2名様。
■応募方法 ハガキに品名、住所氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。9月29日必着。

プレゼント

■萩ものがたり「萩の世界遺産」・英語版ガイドブック2冊を2名様
②「おたからマップ」ご希望の地区を2名様。
■応募方法 ハガキに品名、住所氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。9月29日必着。

ふるさと情報紙「萩ネットワーク」

萩ネットワーク協会 ☎0838・25・3178

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送
発行月 1・3・5・7・9・11月号
(1994年10月創刊)
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円
会員数 1,700人

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

9月1日(金)～12月31日(日)

◇古地図でめぐる萩まるごとクーポン

市内各所

10月1日(日)～22日(日) 10:00～17:00

◇着物ウィーク in 萩プレミアム

城下町周辺、市内各所

10月6日(金)～8日(日)、14日(土)～15日(日)

21日(土)～22日(日) 18:00～21:00

◇萩・竹灯路物語プレミアム 城下町周辺

10月7日(土)～8日(日)

◇ふるさと紙芝居全国大会プレ大会 in 萩

市内各所

10月6日(金)～9日(月・祝) 10:00～

◇萩・田町萩焼まつり 田町商店街アーケード

10月8日(日) 9:30～

萩地方卸売市場

◇萩・魚まつり 道の駅・萩しーまーと

11月11日(土)～12日(日) 10:00～

◇萩ふるさとまつり 中央公園、市民館ほか

11月12日(日) 12:00～

◇萩時代まつり(パレード) 中央公園～金谷神社

着物ウィーク

▷写真

着物フォトコンテスト 2016

「秋に吹く風。」 高尾邦彦 (北九州市)



松本川と橋本川の分岐点・阿武川橋梁を走る瑞風



トワイライトエクスプレス瑞風

萩への立ち寄り観光スケジュール

9月17日(日)、10月1日(日)・5日(木)・8日(日)・29日(日)

8:40 東萩駅到着 / 12:08 萩駅出発 (予定)



萩・明倫学舎

「松陰先生の朗唱教室」

毎月2回 第2・4土曜日 14:00～

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

プリティー♡プリント 「江戸の花鳥版画展」

9月16日(土)～10月22日(日)

四季折々の草花や樹木に、小鳥をはじめ小動物や昆虫、魚などを取り合わせた絵画を花鳥画といいます。歌川広重、葛飾北斎のほか、伊藤若冲をはじめ浮世絵師以外の画家による花鳥版画も展示。

花鳥版画に描かれた、かわいい動物やカラフルな花々をお楽しみください。

■観覧料 一般 1,000円、70歳以上・学生 800円、18歳以下は無料

■休館日 10月2日(月)、10月16日(月)



萩博物館だより

☎0838・25・6447

没後百年記念企画展 2017

「日本の工学の父 山尾庸三」

9月16日(土)～12月3日(日)

山尾庸三は、幕末にイギリスへ密航し、5年間の留学生活を送り工部大学校(現在の東京大学工学部)の創設に尽力。盲啞学校の設立にも関与。庸三の人物像を、家族や友人などとの関係・交流にも注目し、多角的な視点から紹介します。展示資料の大部分が初公開!

■観覧料 大人 510円、高・大学生 310円、小・中学生 100円

■休館日 会期中無休

※9月8日(金)のみ臨時休館。

